

# キャンプ桑江南側地区



## まちづくりニュース

—第1号—

秋涼の候、キャンプ桑江南側地区の地権者の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は北谷町のまちづくりにご理解、ご協力を賜り、感謝いたします。

さて、北谷町は「ニライの都市（まち）」の実現に向けて、町全体が一体となった都市づくりを進めていくことを掲げています。このためには、キャンプ桑江地区のような返還軍用地の跡地利用を計画的に進める必要があると考えます。

現在北谷町は、跡地利用推進として平成15年3月に返還されたキャンプ桑江北側地区において、土地区画整理事業を進めています。その南側に隣接していますキャンプ桑江南側地区は、北側地区と同様にSACOの返還合意事案で、現在は、返還はなされていませんが、いずれ地権者の皆さんのもとへ返還されます。

南側地区も返還がなされれば、北側地区と同様に計画的なまちづくりを進めていくことが必要です。もちろん、まちづくりである以上、その取り組みは地権者の皆さんと北谷町と一緒に取り組んでいくことが大切と考えています。

まちづくり活動の取り組みとして、去る10月18日（木）に、ちやたんニライセンター カナイホールにて、キャンプ桑江南側地区の地権者の皆さんを対象とした「キャンプ桑江南側地区 まちづくり説明会（第1回）」を開催しました。

その説明会の報告と、これから進める勉強会のメンバーのお知らせを兼ねて「キャンプ桑江南側地区 まちづくりニュース 第1号」を発送させていただきます。



今後もこういった取り組みに、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

**キャンプ桑江南側地区  
まちづくり説明会（第1回）を開催しました**

# 説明の概要

## ～町とみなさんと一緒にまちづくりをはじめましょう～

10月18日の説明会は、385名の地権者の方々へ案内（共有権利者方の場合1通）を差し上げ、約70名の方がご参加いただきました。

ご参加いただきました地権者の皆さま、御礼申し上げます。

### 説明の概要（北谷町総務部企画財政課企画係より）

当日、右の資料を用いた説明がなされました。

説明の項目は、以下のとおりです。

なお、右の資料は現在北谷町総務部企画財政課（北谷町役場3F）にあります。

#### 1. これまでの経緯と今年度の目標

- (1)SACO 合意について
- (2)キャンプ桑江南側について
- (3)今年度、キャンプ南側地区のまちづくりで取り組みたい事（目標）

#### 2. 今年度の活動内容

- (1)今年度の主な活動内容
- (2)勉強会の進め方

#### 3. 活動スケジュール案



#### ★説明 桑江南側地区の勉強会の進め方（資料部分の掲載）★

キャンプ桑江南側地区の地権者は総計で約400名です。一般に説明会は全地権者の方々をお招きして開催します。しかし勉強会は、400名もの方々を一同に会して開催しますと、勉強会の目的でもある積極的な意見交換がしづらくなります。また400名と大勢であるため、会場も限定され、柔軟に開催できない事も考えられます。

そこで勉強会に限っては、世話役となっただけの方々や、地域の代表の方々を対象として開催する事も考えられます。

勉強会の進め方については、本日の「まちづくり説明会（第1回）」の中で、ご意見を伺った上で、検討していきます。

#### まちづくり勉強会の構成案

まちづくり勉強会は、本地区内の各字毎（三つ）から推薦（5名程度）された組織（15～20名）で進めていくと、充実した内容で開催できると考えます。

## 意見交換

### ～会場の皆さまと質疑応答などの意見交換を行いました～

資料説明の後、ご参加いただいた地権者の皆さまと北谷町とで意見交換を行いました。

その主なものを以下に整理します。紙面の関係で全ての掲載ができず、申し訳ございません。

キャンプ桑江南側地区の返還に備え、まちづくりの準備を進めるため、まちづくり勉強会を開催し、その中で意見交換を行っていききたい。その組織については、各字毎から推薦（自薦、他薦 締め切りは10月25日）された15～20名の方々に構成したいと考えます。

以上の進め方について、いかがでしょうか？（北谷町より）

→参加者の方々より

意義なしの事と、賛同の拍手

本日の説明会は、何が目的なのでしょう？（地権者より）

→北谷町より

今年度の北谷町がキャンプ桑江南側地区で進めたいまちづくり活動（説明会、勉強会）についてお伝えしたい。また勉強会の進め方と、その組織と人選方法について決定したい。

勉強会の中では、北谷町が平成16年度に策定した「まちづくり基本構想」を題材に意見交換を進めていききたい。

※まちづくり基本構想とは

まちづくりを考える範囲の道路や土地の利用等の枠組みを概略で整理したもの。

まちづくりを具体的に進める上で、最初に策定するプランで、今後、幾度となく検討、変更を行う題材となる。

桑江北側地区の状況は？また北側地区と南側地区とはどのように整合させているのか？（地権者より）

→北谷町より

北側地区は当初の計画より若干の遅れが発生しているが、着実な事業施行を進め、平成26年度までに事業完了を目指していく予定である。

なお、キャンプ桑江地区は北谷町の中央部に位置しており、北側、南側を含め整合を図っているが、勉強会の中で地権者の皆さまの意見を踏まえ、「まちづくり基本構想」に手を加えていききたい。

キャンプ桑江南側の返還の目処はたっているのか？（地権者より）

→北谷町より

SACOでは返還は平成19年度とされてきたが、現在の海軍病院移転の進捗状況から今年度の返還はないと考えられます。しかし、将来的には必ず返還されます。その準備としてまずは勉強会等を進める事が大切だと考えます。

軍用地の返還に向けた準備は、非常に重要である。地主としては、自分達の土地をどのようにしていきたくのかを早くから勉強し、将来の返還に備えねばならない。地権者、北谷町、軍用地等地主会とよく連携してまちづくりの準備を進めていくべきと考える。（地権者より）

→北谷町より

ご意見の通り、返還軍用地でのまちづくり準備は大切であり、そのためにもまずは勉強会を進める組織が必要と考えます。是非とも地権者の皆さんの協力をお願いいたします。

## 今後の取り組み ～まちづくり勉強会をスタートさせます～

キャンプ桑江南側地区の今年度のまちづくりの取り組みがスタートしました。今後は、下記のまちづくり勉強会を始めとして、意向調査や説明会に取り組んでまいります。

いずれにしても、まちづくりは地権者の皆さんの参加をいただくことが大切です。北谷町は地権者の皆さんと一緒に、まちづくり活動へ取り組みたいと考えます。

その際は、最適な取り組みが何であるかを常に考え、臨機応変な対応を進めてまいります。

### まちづくり勉強会のメンバー(大切なお知らせ)

まちづくり説明会にて組織化の賛同をいただいた「キャンプ桑江南側地区 まちづくり勉強会」ですが、参加を希望された方、地区から選出された方でもって、メンバーがきまりました。

今後、3月までの5回の勉強会を開催し、キャンプ桑江南側地区の返還後のまちづくりにつなげていけるよう、北谷町と一緒に取り組んでまいります。

なお、メンバーは以下の15名の方々です。

- |        |        |            |
|--------|--------|------------|
| ○大城文信  | ○津山永興  | ○目取真興明     |
| ○国吉真一  | ○津山永徳  | ○宮里友榮      |
| ○座喜味朝雄 | ○富川盛武  | ○桑江郷友会から1名 |
| ○島袋善保  | ○仲地幸雄  |            |
| ○島袋豊吉  | ○仲村渠吉助 |            |
| ○玉那覇仁  | ○仲村渠昇  |            |

**編集・発行**/北谷町総務部企画財政課

**発行日**/平成19年11月

**問い合わせ先**/北谷町役場 総務部 企画財政課 企画係

TEL:098-936-1234(内線165)

FAX:098-936-7474

このニュースに関するご意見、まちづくりに関するご質問、ご要望等がありましたら、お気軽にご連絡下さい。